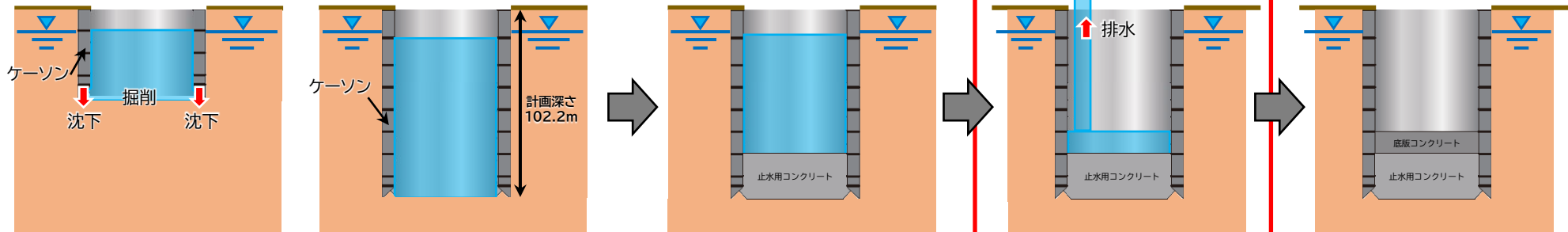


## 寝屋川北部地下河川 城北立坑築造工事 地下水の流入について

## ■ 立坑築造工事の手順(イメージ)



## ①ケーソンの沈設

立坑に水が抜けて、周辺の地下水位が低下しないよう、ケーソン内部に水を張りながら、底面の掘削を進める。  
※地下水低下に伴う地盤沈下を防止するため。

## ②止水用コンクリートの打設

ケーソン沈設完了後、周辺の地下水がケーソン内部に流入しないよう止水用コンクリートを打設して、底面に蓋をする。

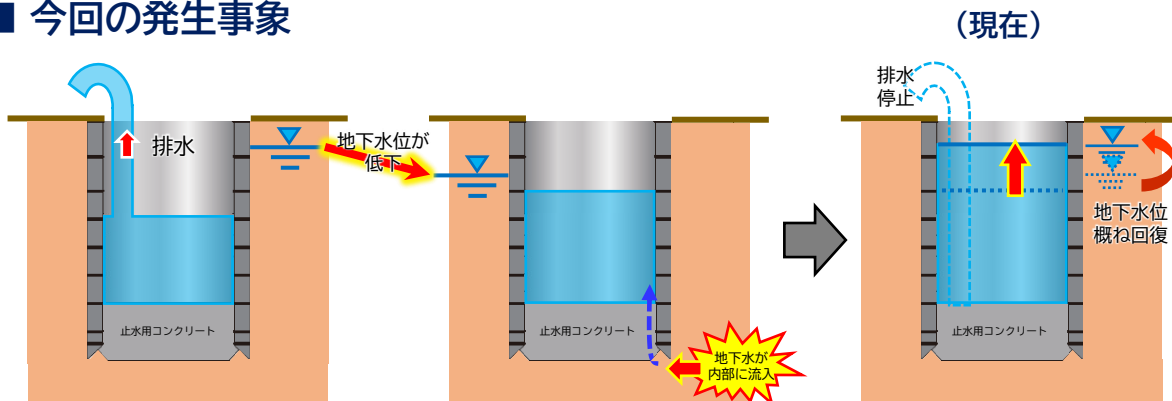
## ③ケーソン内部の排水

止水用コンクリートの打設完了後、ポンプにより内部の水を排水する。

## ④本体底版コンクリートの打設

排水完了後、本体底版コンクリートを打設し、立坑を完成させる。

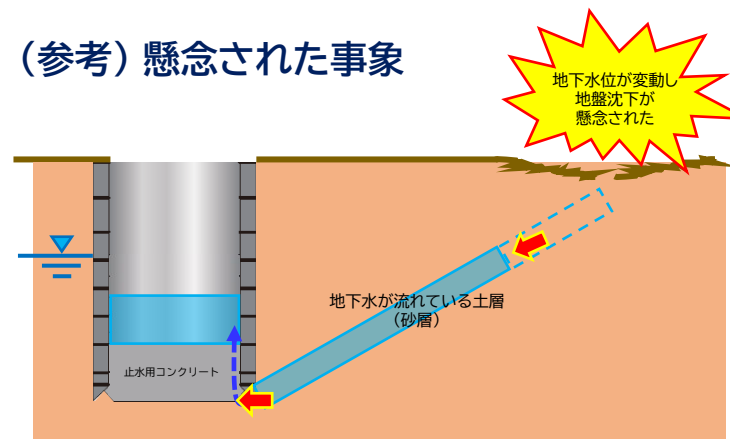
## ■ 今回の発生事象



- 上記、手順の③における排水を行っていたが、底面の一部から地下水が内部に流入していることが判明。
- 現場周辺に地下水位の影響を観測する観測井を設けており、これを確認したところ、地下水位の低下を確認。

排水を停止し、立坑内水位を上昇させることにより、地下水位は概ね回復した。  
➔ 周囲への影響はなし

## (参考) 懸念された事象



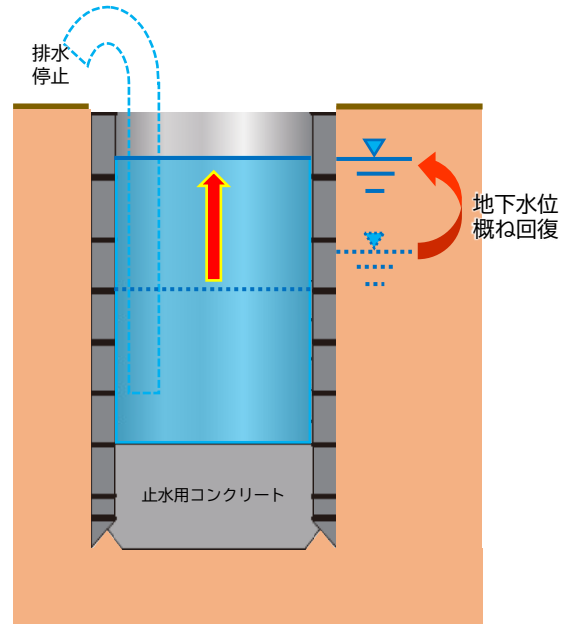
立坑内に流入した水は、周辺の砂層から流入した地下水であり、排水を継続した場合、地盤沈下の発生が懸念された。

# 寝屋川北部地下河川 城北立坑築造工事 地下水の流入について

## ■対応状況

- 排水を中断し、ケーソン内の水位をあげることで地下水の流入を停止。
- 地下水水位も回復し、周囲への影響は確認されていない。

※観測井戸の水位及び周辺地盤の計測を継続



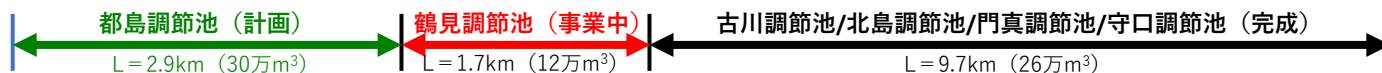
## ■今後の予定

- 寝屋川北部地下河川城北立坑築造工事の工期延期
- 原因を解明し、対策工法を選定するため、有識者会議へ諮問
- 有識者会議の答申を踏まえ、府の対応方針を決定

## 【参考】

## ■寝屋川北部地下河川

最上流部の寝屋川市讃良立坑から大阪市都島区に設置予定のポンプ場まで、全長14.3kmの計画。  
現在、城北立坑と鶴見調節池の建設に着手し、令和8年度中に城北立坑を完成させ、鶴見調節池の本体となる河川トンネルの築造にむけ、準備を進めているところ



## ■城北立坑築造工事

### 工事概要

#### 発注者

大阪府都市整備部  
寝屋川水系改修工営所

#### 受注者

戸田・ハンシン・大容  
特定建設工事共同企業体

#### 工事箇所

大阪市城東区関目二丁目地内

#### 工事期間

令和元年10月28日～令和8年6月30日※

#### 工事金額

12,024,558,700円 (税込)

#### 主要工種

立坑工 外径 Φ34.8m 一式

※工期延期を予定しています。